

政策シート

(政策名) 行財政運営に対する監査・指導の推進
(予算費目名) 外部監査費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策

◇政策の概要

第三者である専門家による包括外部監査を実施し、行政が住民の福祉の増進のために、最少の経費で最大の効果を上げるよう、それらの合法性、合規性はもとより、経済性、効率性、有効性をチェックすることにより、適正な行財政運営の確保を図る。

◇関連するSDGsのゴール

⑯平和									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	14,636	14,636				
決算	14,620					
人件費(A)	2,840	4,640				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	17,460	19,276				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
包括外部監査結果における指摘等に対する是正等対応率(%)	%	目標	95	95	95	95	95	95
		実績	97.9					
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

第三者である専門家による包括外部監査を実施し、行政が住民の福祉の増進のために、最少の経費で最大の効果を上げるよう、それらの合法性、合規性はもとより、経済性、効率性、有効性をチェックすることにより、適正な行財政運営の確保を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

包括外部監査の指摘等に対する是正対応率は、目標95%に対し、97.9%と目標を上回っている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	包括外部監査委託事業					19,276	14,636	0.4	0.2		0.4	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						19,276	14,636	0.4	0.2		0.4	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 包括外部監査委託事業

◇事業目的・事業対象

包括外部監査人により、本市の財務管理、事業の経営管理等が適正な運営であるのかのチェックを受け、改善すべき内容があれば速やかに改善することにより、適正な行財政運営の確保を図る。

◇事業の概要

・包括外部監査制度は、地方自治法により、都道府県、政令指定都市、中核市に実施が義務付けられており、本市においても平成11年度から実施している。
・浜松市の行政が①最少の経費で最大の効果を挙げているか、②常に組織及び運営の合理化に努めているかという観点に立って監査を行う。そのため監査の本来の目的である、収入や支出の合法性と合规性を監査するだけでなく、それらの経済性、効率性、有効性をも監査するという特色があるほか、包括外部監査人に公正な第三者の立場かつ公認会計士等の専門家の立場で自由に監査テーマを選定していただき、そのテーマを深く掘り下げて監査するという方法を採用している。
・監査の結果報告については同法に基づき公表するとともに、指摘等については、個別に市の考え方を明らかにし改善措置を講じている。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	-	一般会計	自治事務(法令義務)	地方自治法第252条の36	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	14,636	14,636				
	決算	14,620					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	14,620	14,636				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,840	4,640				
人工	正規	0.2	0.4				
	再任用(h31)	0.4	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	○ 16.6
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

包括外部監査を実施し、その結果に基づき措置を講じることにより、適正な行財政運営の確保を図る。また、監査結果及び講じた措置を市民へ公表し、行政の透明性を図る。

令和2年度	(管理番号) 07 05 05 01 000318000 01	(担当課) 政策法務課	(責任者) 山本 治之	(基準日) 令和 2 年 7 月 1 日
-------	------------------------------------	----------------	----------------	-------------------------

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
包括外部監査結果における指摘等に対する是正等対応率(%)					-	-	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95	95	95	95	95	95	95
実績値	96.1	97.9					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【監査実施】 ・鈴木實包括外部監査人(公認会計士)による、「清掃事業に係る事務の執行について」をテーマとした包括外部監査を実施する。 ・監査が円滑に実施できるよう、包括外部監査人と被監査部局との調整を行う。 ・監査報告後は早期は正を図るため、被監査部局に対して監査結果に基づく措置に向けた早期対応を促す。 【監査実施に伴う措置】 ・平成30年度の監査結果及び平成29年度以前の指摘等の中で措置対応が継続中のものについて、6月に調査を実施し、措置を講じたものについて監査委員へ通知する。 ・平成30年度までの監査結果に対する対応方針をとりまとめ、監査委員及び議会に情報提供をし、市ホームページで公表する。
--

・事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り 【監査実施】 ・包括外部監査結果報告を3月16日に実施し、包括外部監査人から市長、議長及び監査委員へ、指摘17件、意見48件、合計65件の監査結果について報告した。 【監査実施に伴う措置】 ・包括外部監査(平成21年度から平成29年度までに実施済)の指摘等に対する是正等対応率は、目標95%に対し、97.9%と目標を上回った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・円滑な包括外部監査の実施のため被監査部局との調整を行うとともに、包括外部監査人による市長、議長及び監査委員への監査結果報告を行い、合规性や経済性、効率性、有効性などの様々な観点から問題点を指摘していただくことができた。
- ・監査結果報告書の作成に当たっては、監査人と被監査部局との間で事実誤認がないか等について十分調整し、指摘等の意図を所管課が確実に汲み取り、早期の是正・改善に結び付けられるよう努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・人工については、豊富な経験・知識を持った再任用職員の活用を図っている。
- ・過年度の指摘等で未措置のままとなっているものの対応について、所管課と調整していく。
- ・措置を講じたものを監査委員へ通知する際には、分かりやすい表記となるよう努めていく。
- ・包括外部監査人の選定にあたっては、内部統制監査について実績豊富な方等の推薦を求めている。

政策シート

(政策名) 行財政運営に対する監査・指導の推進
(予算費目名) 監査費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策

◇政策の概要

監査委員による監査を通じて、執行機関において適正かつ効率的な行財政運営が行われるとともに、行政の透明性確保と市民への説明責任が果たされるよう、市民の視点で市政運営の監視、評価及び指導を推進する。

◇関連するSDGsのゴール

⑯平和									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	5,494	5,380				
決算	4,417					
人件費(A)	93,800	93,800				
報酬(B)	7,380	7,643				
年間経費(予算又は決算+A+B)	105,597	106,823				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
定期監査、行政監査、財政援助団体等監査を実施した組織等の数	箇所	目標	120	120	120	120	120	120
		実績	158					
決算審査、例月出納検査を実施した会計数	会計	目標	22	22	22	22	22	22
		実績	22					
業務の改善につながる指摘事項・意見の掲出	件	目標	50	50	50	50	50	50
		実績	29					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

監査委員による監査を通じて、執行機関において適正かつ効率的な行財政運営が行われるとともに、行政の透明性確保と市民への説明責任が果たされるよう、市民の視点で市政運営の監視、評価及び指導を推進する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
○定期監査、行政監査及び財政援助団体等監査の目標値120箇所に対し158箇所を実施した。 ・指摘・指導事項については、監査終了後、関係部局に通知することで早期の対応を促した。また、指摘及び意見については、監査結果報告書として議会、市長及び市の関係機関へ報告するとともに公表した。 ○決算審査及び例月出納検査について22会計を実施した。 ・審査及び検査結果をそれぞれ意見書及び報告書として議会、市長へ報告した。 ○業務の改善につながる指摘事項・意見の目標値50件に対し29件を掲出した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	監査執行事業					106,823	5,380	13.0			1.0	7,643
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						106,823	5,380	13.0			1.0	7,643

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 監査執行事業

◇事業目的・事業対象

正確性、合規性、経済性、効率性、有効性の観点から事務事業の執行状況を監査し、適正な行財政運営の確保に資する。

◇事業の概要

- 定期監査
 - ・財務監査として、収入、支出等の手続やその根拠の適正性等について実施する。工事監査として、道路、学校等における土木・建築・設備工事の施工管理・技術等について実施する。学校監査として、市立中学校、小学校の運営、施設管理等について実施する。
- 行政監査
 - ・市が行う事務事業の執行状況について、経済性・効率性・有効性に主眼を置いた監査を実施する。
- 財政援助団体等監査
 - ・市が補助金等により財政的な援助をしている団体等を対象に、出納事務等について実施する。
- 決算審査
 - ・令和元年度の決算その他関係諸表の正確性、予算執行の適正性等を対象に実施する。
- 例月出納検査
 - ・市の一般会計、特別会計や各企業会計等における現金の出納の正確性等を対象に毎月実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S24	—	一般会計	自治事務(法令義務)	地方自治法、地方自治法施行令、浜松市監査委員に関する条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,494	5,380				
	決算	4,417					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	4,417	5,380				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)		7,380	7,643				
人件費(千円)		93,800	93,800				
人工	正規	13.0	13.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	○ 16.6
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市が行う事務事業に対し、経済性・効率性・有効性に主眼を置いた監査を行うことにより、各所管が所管事業に対する説明責任を自認させ、ひいては透明性の高い浜松市政の構築に寄与する。

令和2年度	(管理番号)	(担当課)	(責任者)	(基準日)
07 05 05 02 006311000 01	監査事務局	唐澤 晃宏	令和 2 年 7 月 1 日	

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
定期監査、行政監査、財政援助団体等監査を実施した組織等の数(箇所)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	120	120	120	120	120	120	120
実績値	163	158					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
決算審査、例月出納検査を実施した会計数(会計)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	23	22	22	22	22	22	22
実績値	23	22					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
業務の改善につながる指摘事項・意見の掲出(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	50	50	50	50	50	50	50
実績値	40	29					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 定期監査
 - ・財務監査として、収入、支出等の手続やその根拠の適正性等について実施する。工事監査として、道路、学校等における土木・建築・設備工事の施工管理・技術等について実施する。学校監査として、市立中学校、小学校の運営、施設管理等について実施する。
- 行政監査
 - ・市が行う事務事業の執行状況について、経済性・効率性・有効性に主眼を置いた監査を実施する。
- 財政援助団体等監査
 - ・市が補助金等により財政的な援助をしている団体等を対象に、出納事務等について実施する。
- 決算審査
 - ・平成30年度の決算その他関係諸表の正確性、予算執行の適正性等を対象に実施する。
- 例月出納検査
 - ・市の一般会計、特別会計や各企業会計等における現金の出納の正確性等を対象に毎月実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度
計画通り
○監査執行事業
1 定期監査、行政監査及び財政援助団体等監査の目標値120箇所に対し158箇所を実施した。
○定期監査(財務監査)・・実施課数:87課、指摘等件数:指摘0件、指導151件、意見10件
○定期監査(工事監査)・・実施箇所数:12件、指摘等件数:指摘0件、指導:2件、意見:0件
○定期監査(学校監査)・・実施箇所数:24件、指摘等件数:指摘0件、指導:7件、意見:1件
○随時監査(財務部財政課、アセットマネジメント推進課)・・実施課数:2件、指摘等件数:指摘0件、指導0件、意見:0件
○随時監査(公営企業の財務事務等)・・実施会計数:3会計(5セグメント)、指摘等件数:指摘1件、指導:10件、意見:0件
○財政援助団体等監査・・実施数:16件、指摘等件数:指摘0件、指導24件、意見0件
○行政監査・・実施数:12件、指摘等件数:指摘0件、指導8件、意見0件
2 決算審査及び例月出納検査について22会計を実施
○一般会計・特別会計(14会計)、3財産区特別会計及び公営企業会計(3会計5セグメント)の決算審査並びに基金運用審査(2基金)並びに例月出納検査・・意見17件
○財政健全化及び経営健全化審査

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 監査を計画どおり実施し、指摘、指導することで、適正かつ効率的な行財政運営の確保に資した。
- ・ 審査、検査を計画どおり実施し、係数の正確性、予算執行等の適正性を検証することで、適正な行財政運営の確保に資した。
- ・ 庁内公認会計士の活用により、監査業務の充実が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 効率的、効果的な監査を実施していくために、現状の資源配分のなかで執行体制や業務の進め方を改めていく。
- ・ 監査対象を市にとってリスクが高い分野に絞り込み、実効性のある監査を推進する。
- ・ 内部統制制度に依拠した監査並びに各監査、決算審査及び例月出納検査を有機的に連携して行うことでより効率的、効果的な監査等を実施する。
- ・ 監査能力の向上のため、職員間の情報共有と研修を実施することで、監査機能の充実・強化を図る。